

宿泊産業生産性向上実践塾の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、県ではこの度県内の宿泊事業者を対象とし、経営戦略、財務状況の把握・分析、生産性・サービス水準の向上策の研究など、宿泊業の経営及び業務の効率化を図る「生産性向上実践塾」を開催し、青森県の宿泊施設における人材の育成と宿泊産業の生産性・サービス水準の向上につなげていく取組を行います。

つきましては、応募希望の場合は、別紙の応募申請書に御記入の上、7月5日（金）までにFAX又はメールにて御返信くださいますようお願い申し上げます。

なお、応募者多数の場合は、選考の上書面にて可否の御連絡をいたします。

敬具

【事業内容】

- ① 青森県内の宿泊施設から1施設（以下、「モデル施設」という）を選定します。
- ② モデル施設の経営層を対象に、次の事前ヒアリングを実施します。
 <ヒアリング内容>
 - (1) B/S、P/L、キャッシュフロー計算書（バランスシート、損益計算書）
 - (2) 現状の課題（集客、単価、稼働率、原価、人件費、採用と定着 など）
 - (3) 施設が目指す理想形（経営者のヴィジョン）
 - (4) 活用するICTの決定 など
- ③ 事前ヒアリングをベースに、コンサルタントを交え、全3回のワークショップ（実践塾）を実施します。
 （令和元年8月～令和2年2月を予定）
- ④ 全3回の取組の中には、ICTを活用した生産性・サービス水準向上の実証実験を含みます。なお、導入するICTのコストについてはモデル施設の負担とします。導入・活用するICTについては、担当コンサルタントと相談の上、モデル施設毎に決定します。
- ⑤ 本事業を通じた成果として、労働生産性やサービス水準の向上度、顧客満足度の上昇などを定量的に測定し、その効果を図るものとします。

回次	時期（予定）	内容
	7月上旬	モデル施設決定
	7月	事前ヒアリング（日程は別途調整します。）
第1回	8月下旬	事前ヒアリングをもとに現状の「強み」・「弱み」の共有、ターゲット設定、課題と打ち手の明確化、ICTの活用について
第2回	11月下旬	取組みの進捗確認、ICT活用による効果測定、状況に応じた修正対応について
第3回	1月下旬	成果確認と今後の持続的な取組の検討、ICTの活用による成果（労働時間の削減・各種コストの削減 など）について
	2月下旬	発表会（予定）

お申し込み先（業務受託先）

株式会社リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンター

連絡先：<電話 03-6835-6255><メール miki_yamauchi@r.recruit.co.jp><FAX03-6834-8628>